社会福祉法人ユーカリ福祉会

平成31年度

小金保育園事業計画書（案）

KOGANE

社会福祉法人ユーカリ福祉会
小金保育園　園長　坂本　剛
〒270－0014　千葉県松戸市小金444－54
電話　047－341－2644
FAX　047－341－0694
e-mail:　kogane@true.ocn.ne.jp

目　次

・　ユーカリ福祉会の理念……P.2

・　はじめに……P.2

・　小金保育園保育課程……P.3～5

・　養護のねらい及び内容 ……P.5～6

・　教育のねらい及び内容 ……P.6～8

・　避難訓練年間計画……P.9

・　自衛消防隊の組織……P.10

・　食育計画……P.11～13

・　健康管理、衛生管理への取り組み……P.14～15

・　地域活動……P.16～17

・　保護者の皆様との連絡・連携の取り組み……P.17～18

・　安全管理への取り組み……P.18～19

・　職員研修……P.19

・　その他の取り組み……P.19～20

・　職員分担……P.21

・　年間行事予定表……P.22

ユーカリ福祉会の理念

1、児童憲章の精神を基本とし、子どもの人権と個性を尊重し自然を愛し科学と芸術を尊び、道徳的心情が培われる保育を推進していく。
2、子どもたちが、社会の一員としての責任を自主的に果たせるよう導き、虐待や酷使、放任、その他不当な扱いから守り、すべての児童の幸福のために、理事と職員は、叡智を結集し愛と誠によって平和と文化に貢献する。
3、ユーカリ福祉会の職員は、保育に懸ける情熱とプロとしての自覚を持ち、謙虚な姿勢で自己を磨き児童を愛し、保護者を愛し、地域を愛し、国を愛し、保育に取り組んで行かなくてはならない。
4、法人の理事は、賢明に児童たちを愛し、保育に打ち込むユーカリ福祉会の職員たちを守り働き良い環境の設定に努める。
5、ユーカリ福祉会は、時勢を見極める力を持ち、その時代の流れを敏感に把握し、より良い保育内容を生み出せる工夫と、運営を考え、進んで行かなくてはならない。
6、開拓精神・即応性・柔軟性を持ち、親や子や地域に寄り添い、共に共感しようとする保育姿勢を大切にして、保育内容の技術、理論、研究、保育士の教育等に力を注がなくてはならない。

1、はじめに

11年目に入りました。10年を一区切りとして考えてみて、初心に帰り1年目のスタートの気持ちで保育にあたりたいと思います。

新たな職員を仲間に加えて10年の経験を活かしつつ、若手、中堅、ベテラン職員それぞれが力をだしてユーカリ福祉会の保育理念の向上、推進を目指して努力したいと思っています。

17名の卒園児を送り出し、新入園児21名を迎えての31年度がスタートします。

今年度も各クラスが定員増の93名で4月が始まります。155%の入園率です。松戸市1番の入園率です。なので運営的には今年も安定し、老朽化した園舎の整備に力をいれます。

但し、松戸市の方から32年度までに定員の見直しを図ってほしいとの申し入れがありました。ここ数年は150%前後の入園率で、松戸市が掲げている施政方針の一つの「待機児童ゼロ、子育てしやすい街、日本で一番」に充分に寄与してきたと思っているのですが！

定員数を上げると運営費に直接響き、大幅に予算がダウンします。
32年度以降の園の運営に多大な支障をきたすので今年度中に法人皆様方のご意見をいただきながら、解決策を見出したいと思います。

小金保育園平成31年度保育課程

小金保育園基本理念

1、情熱と誠意を持ち丁寧な保育を実践する。
2、一人一人を大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す。
3、いろいろな経験を通し豊かな人間性の基礎を育成する。

保育方針

・やさしい心を育み、勇気をもって、やさしさを実践できる子どもに育てよう。
・自主性・主体性を育てる集団のなか、自分の目で見て、自分の耳で聞いて、自分の頭で考えて、いきいきと行動できる子どもに育てよう。
・幼い命の成長に関わるすべての人々の叡智と、きめ細やかな養護、適切な援助、家庭支援等誠実な実践によって共に学び合おう。
・鋭い感受性を持った創造的な芸術家としての子ども、深い人間愛を身につけようとする生活者としての子ども、そのかけがいのない命が表現するよろこびを受容し、よろこびとかなしみを共有していこう
・身体的にも精神的にも社会的にも穏やかな子どもたちに育てよう。

保育目標

1、心身ともに豊かな子ども
2、じょうぶな身体づくり
3、やさしい心を持つ子ども
4、意欲をもつ子ども
5、自分で考えて行動する子ども

発達過程

おおむね6か月～1歳3ヶ月未満
・座る、はう、立つ、つたい歩きといった運動機能が発達する。
・腕や手先を意図的に動かせるようになる。
・周囲の人や物に興味を示し、探索活動が活発になる。
・特定の大人との応答的な関わりにより、情緒的な絆が深まる。
・あやしてもらうと喜ぶなどやりとりがさかんになる。
・人見知りをするようになる。
・身近な大人との関係の中で、自分の意思や欲求を身振りなどで伝えようとする。
・大人から自分に向けられた気持ちや簡単な言葉がわかるようになる。
・離乳食から幼児食へ徐々に移行する。

おおむね1歳3か月～2歳未満

・歩き始め、手を使い、言葉を話すようになり、身近な人やものに自発的に働きかけていく。
・歩く、押す、つまむ、めくるなど様々な運動機能の発達や新しい行動の獲得により、環境に働きかける意欲を一層高める。
・玩具等を実物に見立てるなどの象徴機能が発達し、人や物との関わりが強まる。
・大人の言うことがわかるようになる。
・物をやり取りしたり、取り合ったりする姿が見られる。

おおむね2歳

・歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動機能の発達。
・指先の機能の発達。
・食事、衣類の着脱など身の回りのことを自分でしようとする。
・排泄の自立のための身体的機能が整ってくる。
・発声が明瞭になり、語彙が著しく増加する。
・盛んに模倣し、物事の間の共通性を見いだす事ができるようになる。
・象徴機能の発達により、大人と一緒に簡単なごっこ遊びを楽しむようになる。
・自分の意思や欲求を言葉で表出できるようになる。
・行動範囲が広がり探索活動が盛んになる中、自我の育ちの表れとして、強く自己主張する姿が見られる。

おおむね3歳

・基本的な運動機能が伸びる。
・食事、排泄、衣類の着脱などがほぼできるようになる。
・話し言葉の基礎ができて、盛んに質問するなど知的興味や関心が高まる。
・友達との関わりが多くなるが、実際には同じ遊びをそれぞれが楽しんでいる並行遊びであることが多い。
・自我がよりはっきりとしてくる。
・大人の行動や日常生活において経験したことをごっこ遊びに取り入れる。
・象徴機能や観察機能を発揮して、遊びの内容に発展性が見られるようになる。
・予想や意図、期待を持って行動できるようになる。

おおむね4歳

・全身のバランスを取る能力が発達し、体の動きが巧みになる。
・自然など身近な環境に積極的に関わる。
・様々なものの特性を知り、それらとの関わり方や遊び方を体得していく。
・想像力が豊かになり、目的を持って行動し、つくったり、描いたり、試したりするようになる。
・自分の行動やその結果を予測して不安になるなど、葛藤を経験する。
・仲間とのつながりが強くなる中で、けんかも増えてくる。
・決まりの大切さに気づき、守ろうとするようになる。
・感情が豊かになり、身近な人の気持ちを察し、少しずつ自分の気持ちを抑えられる。

おおむね5歳

・基本的な生活習慣が身につく。
・運動機能がますます伸び、喜んで運動遊びをする。
・仲間と共に活発に遊ぶ。
・言葉によって共通のイメージを持って遊んだり、目的に向かって集団で行動することが増える。
・遊びを発展させ、楽しむために、自分たちで決まりを作ったりする。
・けんかを自分たちで解決しようとするなど、お互いに相手を許したり、異なる思いや考えを認めたりといった社会生活に必要な基本的な力を身につけていく。
・自分なりに考えて判断したり、批判する力が生まれる。
・他人の役に立つことを嬉しく感じたりして、仲間の中の一人としての自覚が生まれる。

おおむね6歳

・全身運動が滑らかに巧みになり、快活に跳び回るようになる。
・仲間の意思を大切にしようとする。
・役割の分担が生まれるような共同遊びやごっこ遊びを行い、満足するまで取り組もうとする。
・様々な知識や経験を生かし、創意工夫を重ね、遊びを発展させる。
・これまでの体験から、予想や見通しを立てる力が育ち、心身ともに力があふれ、意欲が旺盛になる。
・思考力や認識力も高まり、自然現象や社会事象、文字などへの興味や関心も深まっていく。
・身近な大人に甘え、気持ちを休めることもあるが、様々な経験を通して自立心が一層高まっていく。

養護のねらい及び内容

（1）生命の保持

ねらい

・一人一人の子どもが、快適に生活できるようにする。
・一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。
・一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。
・一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図れるようにする。

内容

・一人一人の子どもの平常の健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。
・家庭との連絡を密にし、嘱託医等との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。
・清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して、子どもの生理的欲求を満たしていく。また、家庭と協力しながら、子どもの発展過程等に応じた適切な生活リズムがつくられていくようにする。
・子どもの発展過程等に応じて適度な運動と休息をとることができるようにする。また、食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りを清潔にすることなどについて、子どもが意欲的に生活できるよう適切に援助する。

（2）情緒の安定

ねらい

・一人一人の子どもが、安定感を持って過ごせるようにする。
・一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことが出来るようにする。
・一人一人の子どもが、周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。
・一人一人の子どもの心身の疲れが癒されるようにする。

内容

・一人一人の子どもの置かれている状況や発展過程などを的確に把握し、子どもの欲求を適切に満たしながら、応答的な触れ合いや言葉がけを行う。
・一人一人の子どもの気持ちを受容し、共感しながら、子どもとの継続的な信頼関係を築いていく。
・保育士等との信頼関係を基盤に、一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探求意欲などを高めるとともに、自分への自信を持つことができるように成長の過程を見守り、適切に働きかける。
・一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。

教育のねらい及び内容

（1）健康

ねらい

・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。
・自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。
・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。

内容

・保育士や友達と触れ合い、安心感を持って生活する。
・いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。
・進んで戸外で遊ぶ。
・様々な活動に親しみ、楽しんで取り込む。
・健康な生活リズムを身に付け、楽しんで食事をする。
・身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする。
・保育所における生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しを持って行動する。
・自分の健康に関心を持ち、病気の予防などに必要な生活を進んで行う。
・危険な場所や災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気をつけて行動する。

（2）人間関係

ねらい

・保育園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。
・身近な人と親しみ、愛情や信頼感を持つ。
・社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。

内容

・安心できる保育士との関係の下で、身近な大人や友達に感心を持ち、模倣して遊んだり、親しみを持って自ら関わろうとする。

・保育士や友達との安定した関係の中で、共に過ごすことの喜びを味わう。
・自分で考え、自分で行動する。
・自分でできることは自分でする。
・友達と積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し合う。
・自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。
・友達のよさに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。
・友達と一緒に活動する中で、共通の目的を見いだし、協力して物事をやり遂げようとする気持ちを持つ。
・良い事や悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。
・身近な友達との関わりを深めるとともに、異年齢の友達など、様々な友達と関わり、思いやりや親しみを持つ。
・友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする。
・共通の遊具や用具を大切にし、みんなで使う。
・高齢者をはじめ、地域の人々など自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみを持つ。
・外国人など、自分とは異なる文化を持った人に親しみを持つ。

（3）環境

ねらい

・身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。
・身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。
・身近な事物を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。

内容

・安心できる人的及び物的環境の下で、聞く、見る、触れる、嗅ぐ、味わうなどの感覚の働きを豊かにする。
・好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。
・自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。
・生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味や関心を持つ。
・季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。
・自然などの身近な事象に関心を持ち、遊びや生活に取り入れようとする。身近な動植物に親しみを持ち、いたわったり、大切にしたり、作物を育てたり、味わうなどして、生命の尊さに気付く。
・身近なものを大切にする。
・身近なものや遊具に興味を持って関わり、考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。
・日常生活の中で数量や図形などに関心を持つ。
・日常生活の中で簡単な標識や文字などに関心を持つ。
・近隣の生活に興味や関心を持ち、保育所内外の行事などに喜んで参加する。

（4）言葉

ねらい

・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。
・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。
・日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育士や友達と心を通わせる。

内容

・保育士の応答的な関わりや話しかけにより、自ら言葉を使おうとする。
・保育士と一緒にごっこ遊びなどをする中で、言葉のやり取りを楽しむ。
・保育士や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみを持って聞いたり話したりする。
・したこと、見たこと、聞いたこと、味わったこと、感じたこと、考えたことを自分なりに言葉で表現する。
・したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。
・人の話を注意して聞き、相手にわかるように話す。
・生活の中で必要な言葉が分かり、使う。
・親しみを持って日常のあいさつをする。
・生活の中で言葉の楽しさや美しさに気付く。
・いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。
・絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう。
・日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わう。

（5）表現

ねらい

・いろいろな物の美しさなどに対する豊かな感性を持つ。
・感じたことや考えたことを自分内に表現して楽しむ。
・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。

内容

・水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れて楽しむ。
・保育士と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりして遊ぶ。
・生活の中で様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。
・生活の中で様々な出来事に触れ、イメージを豊かにする。
・様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。
・感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由に描いたり、つくったりする。
・いろいろな素材や用具に親しみ、工夫して遊ぶ。
・音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりする楽しさを味わう。
・描いたり、つくったりすることを楽しみ、それを遊びに使ったり、飾ったりする。
・自分のイメージを動きや言葉などで表現したり演じて遊んだりする楽しさを味わう。

避難訓練年間計画

・保育園では、年間避難訓練計画に基づき、毎月１回、火災,地震等の想定のもと避難訓練を実施いたします。職員において、自衛消防隊を組織し役割を分担し災害時には、子ども達の安全な避難を第一に考え、冷静に的確な対応がとれるよう対策していきます。

月　日	種　　別	想定場所	避難場所	実施方法
4/18（木）	火　災	給食室	ホール	・放送、サイレンの音を聞く。 ・避難時の約束事を知らせる。
5/16（木）	火　災	給食室	砂場前	・保育士の指示で慌てずに避難する ・避難時の約束事の確認。
6/20（木）	火　災	北側隣家	正門前	・自由遊び中にサイレン。 ・近くの保育士と避難。 ・連携を取りながら人数確認。
7/18（木）	地　震	放送にて地震を知らせる	各部屋	・地震時の約束事を知る。 ・放送にて、再度避難する。
8/15（木）	火　災	休憩室	砂場前	・外遊び中。 ・0歳児が非常用滑り台で避難する
9/19（木）	地　震	放送にて地震を知らせる	各部屋	・揺れが収まってからの避難方法を知る。
10/17（木）	台　風	風水害	ホール	・放送にてホールに集まる。 ・風水害について知らせる。
11/21（木）	火　災	西側隣家	小金西公園	・保育所外の安全な場所に避難。 ・降所時間に行う。 ・人数確認をしっかりする。
12/19（木）	火　災	2階	砂場前	・乳児の安全な避難の確認。 ・職員の役割分担の再確認。
1/16（木）	地　震	地震―火災	所　庭	・午睡後、すぐに実施する。 ・寝覚めの遅い子の対応の確認。
2/20（木）	火　災	給食室	砂場前	・口頭での避難誘導指示で避難。 ・避難行動に慣れてくる頃なので、緊張感を持つようにする。
3/19（水）	火　災	ホール	正門前	・全クラス参加。 　乳児の避難誘導確認。 ・状況を的確に判断し避難行動する

自衛消防隊の組織

自衛消防隊
組織図

火災	119番
場所	松戸市　小金444-54
施設名	社会福祉法人　ユーカリ福祉会 小　金　　保育園
発生場所	・どこから出火 ・何が燃えているか ・どんな（災害）状況か
通報者	○○○○○

自衛消防隊長	防火管理者	園長
		氏名

連絡班 通報	班長	1
	班員	1
検索班	班長	1
	班員	1
消火班 初期	班長	1
	班員	1
避難誘導班	班長	1
	班員	5
救護班	班長	1
	班員	2
搬出班	班長	1
	班員	1

食育計画

・楽しんで、美味しく食べることで、心と体をそだてることを目標において『食育』に取り組んでいきます。食材を自分達で栽培、収穫したり日々の食材や旬の食材に触れながら子ども達の五感に働きかけて行きます。野菜を洗ったり、皮をむいたり、切ることなどに挑戦し、子ども達一人ひとりの食べたいという気持ちを育てることに努めていきます。

（食育の目標）
・楽しんで友達と食べる子ども
・お腹がすくリズムがもてる子ども
・食べたいもの、好きなものが増える子ども
・食事作り、準備にかかわる子ども
・食べ物を話題にする子ども

発達過程	ねらい	内容
6か月から1歳3か月未満	① お腹がすき、乳を吸い、離乳食を喜んで食べ、心地よい生活を味わう。 ② いろいろな食べ物を見る、触る、味わう経験を通して自分で進んで食べようとする。	① よく遊び、よく眠り、満足するまで乳を吸う。 ② お腹がすいたら泣く、または、喃語によって乳や食べ物を催促する ③ いろいろな食べ物に関心を持ち、自分で進んで食べ物を持って食べようとする。 ④ ゆったりとした雰囲気の中で、食べさせてくれる人に関心を持つ。
1歳3か月から2歳未満	① お腹がすき、食事を喜んで食べ、心地よい生活を味わう ② いろいろな食べ物を見る、触る、噛んで味わう経験を通して自分で進んで食べようとする。	① よく遊び、よく眠り、食事を楽しむ。 ② いろいろな食べ物に関心を持ち、手づかみまたは、スプーン、フォークなどを使って自分から意欲的に食べようとする。 ③ 食事の前後や汚れたときは、顔や手を拭き、きれいになった快さを感じる。 ④ 楽しい雰囲気の中で、一緒に食べる人に関心を持つ。
2歳児	① いろいろな種類の食べ物や料理を味わう。 ② 食生活に必要な基本的な習慣や態度に関心を持つ。 ③ 保育士を仲立ちとして、友達とともに食事を進め、一緒に食べる楽しさを味わう。	① よく遊び、よく眠り、食事を楽しむ。 ② 食べ物に関心を持ち、自分で進んでスプーン、フォーク、箸などを使って食べようとする。 ③ いろいろな食べ物を進んで食べる ④ 保育士の手助けによって、うがい、手洗いなど身の回りを清潔にし、食生活に必要な活動を自分でする。 ⑤ 身近な動植物をはじめ、自然事象を良く見たり、触れたりする。

			⑥ 保育士を仲立ちとして、友達とともに食事を進めることの喜びを味わう。 ⑦ 楽しい雰囲気の中で、一緒に食べる人、調理をする人に関心を持つ
3歳以上児	食と健康	食を通じて、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。 ① できるだけ多くの種類の食べ物や料理を味わう。 ② 自分の体に必要な食品の種類や働きに気づき、栄養バランスを考慮した食事を取ろうとする ③ 健康、安全など食生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける。	① 好きな食べ物をおいしく食べる。 ② 様々な食べ物を進んで食べる。 ③ 慣れない食べ物や嫌いな食べ物にも挑戦する。 ④ 自分の健康に関心を持ち、必要な食品をすすんでとろうとする。 ⑤ 健康と食べ物の関係について感心を持つ。 ⑥ 健康な生活リズムを身につける。 ⑦ うがい、手洗いなど身の回りを清潔にし、食生活に必要な活動を自分でする。 ⑧ 保育所生活における食事の仕方を知り自分たちで場を整える。
	食と人間関係	食を通じて、他の人々と親しみ支え合うために、自立心を育て、人と関わる力を養う。 ① 自分で食事ができる事、身近な人と一緒に食べる楽しさを味わう。 ② 様々な人々との会食を通して、愛情や信頼感を持つ。 ③ 食事に必要な基本的な習慣や態度を身につける。	① 身近な大人や友達とともに、食事をする喜びを味わう。 ② 同じ料理を食べたり、分け合って食事することを喜ぶ。 ③ 食生活に必要なことを、友達とともに協力して進める。 ④ 食の場を共有する中で、友達とのかかわりを深め、思いやりを持つ。 ⑤ 調理をしている人に関心を持ち、感謝の気持ちを持つ。 ⑥ 地域のお年寄りや外国の人など様々な人々と食事を共にする中で、親しみを持つ ⑦ 楽しく食事をするために、必要なきまりに気づき、守ろうとする。
	食と文化	食を通じて、人々が築き、継承してきた様々な文化を理解し、作り出す力を養う。 ① いろいろな料理に出会い、発見を楽しんだり、考えたりし、様々な文化に気づく。 ② 地域で培われた食文化を体験し、郷土への関心を持つ。 ③ 食習慣、マナーを身につける。	① 食材にも旬があることを知り、季節感を感じる ② 地域の産物を生かした料理を味わい、郷土への親しみを持つ。 ③ 様々な伝統的な日本特有の食事を体験する。 ④ 外国の人々など、自分と異なる食文化に興味や関心を持つ。 ⑤ 伝統的な食品加工に出会い、味わう。 ⑥ 食事にあった食具（スプーンや箸など）

			の使い方を身につける。 ⑦ 挨拶や姿勢など、気持ちよく食事をするためのマナーを身につける。
	いのちの育ちと食料理と食	食を通じて、自らも含めたすべての命を大切にする力を養う。 ① 自然の恵みと働くことの大切さを知り、感謝の気持ちを持って食事を味わう。 ② 栽培、飼育、食事などを通して、身近な存在に親しみを持ち、すべてのいのちを大切にする心を持つ。 ③ 身近な自然に関わり、世話をしたりする中で、料理との関係を考え、食材に対する感覚を豊かにする。	① 身近な動植物に関心を持つ。 ② 動植物に触れ合うことで、いのちの美しさ、不思議さなどに気づく。 ③ 自分たちで野菜を育てる。 ④ 収穫の時期に気づく。 ⑤ 自分たちで育てた野菜を食べる。 ⑥ 小動物を飼い、世話をする。 ⑦ 卵や乳など、身近な動物からの恵みに、感謝の気持ちを持つ。 ⑧ 食べ物を皆で分け、食べる喜びを味わう
		食を通じて素材に目を向け、素材に関わり、素材を調理することに関心を持つ力を養う。 ① 身近な食材を使って、調理を楽しむ。 ② 食事の準備から後片付けまでの食事作りに自らかかわり、味や盛り付けなどを考えたり、それを生活に取り入れようとする。 ③ 食事にふさわしい環境を考えて、ゆとりある落ち着いた雰囲気で食事する。	④ 身近な大人の調理を見る。 ⑤ 食事作りの過程の中で、大人の援助を受けながら、自分でできることを増やす ⑥ 食べたいものを考える ⑦ 食材の色、形、香りなどに興味を持つ。 ⑧ 調理器具の使い方を学び、安全で衛生的な使用法を身に付ける。 ⑨ 身近な大人や友達と協力し合って、調理することを楽しむ。 ⑩ おいしそうな盛り付けを考える。 ⑪ 食事が楽しくなるような雰囲気を考え、おいしく食べる。

健康管理、衛生管理への取り組み

１、乳幼児の健康管理

① 毎日の保育の中で

・子ども達が健やかに過ごせるように、次の４つの項目に配慮し健康管理を行っています。

食事・アレルギー関連	排泄関連
・入園時の面談にてアレルギーの有無を確認 ・毎日の食事量を確認し、通常と変わりないか確認 ・体調不良時の食事対応	・排泄時の手あらい（方法含む）を励行 ・子どもの排泄時間、状態を確認し、健康に異常が無いか確認
睡眠関連	**生活リズム**
・お昼寝を励行し、１日のリズムを調整 ・乳幼児については SIDS 防止のため１０分間隔で睡眠をチェック	・子どもの状態を把握し、静と動の活動内容を組み合わせる ・１日の活動全体に過不足が無かったか日誌にて振り返る

② 子どもの状態の定期的なチェック

視診、体温チェック

・登園時の視診は毎朝行い、また、オムツ替えや着替えの際、身体の変化等も確認します。

・０歳児は毎朝・午後の２回、検温をします。

健康診断・（年２回）

・定期的に全園児を対象に健康診断を実施致します。健康診断で異常があった場合には嘱託医等の専門家と連携をとり、早期に対応致します。

歯科健診・（年１回）

・年１回、０歳児から歯科健診を実施。

健康の記録（月１回）

・月１回身体測定を実施しますが、その際に記入する「健康の記録」を見直し、予防接種その他保育園から子どもの健康に関する連絡を致します。

２、衛生管理（食中毒の予防等）

子ども達と保育者が心地よい園生活を過ごすために、施設面の衛生管理・給食に関わる衛生管理
子どもの健康に関わる衛生管理に心がけていきます。

① 施設面の衛生管理

抵抗力の弱い子ども達が長い時間を過ごす場として、保育園は清潔に保たれていなくてはなりません。衛生管理マニュアルに基づき、保育者が毎日役割を分担し、施設の衛生管理を徹底します。

管理項目

・施設の清掃
・水回り（トイレ・手洗い場）、床の消毒
・玩具の消毒（特に乳児が使用する玩具）
・寝具の殺菌

② 給食に係わる衛生管理

保育園の給食は栄養管理と同様に衛生管理についても万全を期さなければなりません。
関係者全員が衛生知識を研修等により熟知し、運営管理に万全を期します。
食品衛生マニュアル・大量調理施設衛生管理マニュアルに準ずる。

③ 子どもの健康に関わる衛生管理

年間を通して保育者・子ども達の衛生週間を徹底し、予防対策を実施していきます。
子ども達が習慣を身につけるには、まず保育者が正しい知識を持ち、率先して行うことが大切だと考えております。

- 手洗い・うがい・歯磨きの指導
- タオル・コップなどの共同使用禁止
- おむつ替え時の注意事項
- 感染症に関する知識の習得
- 季節ごとの流行性疾患に対する知識習得

地 域 活 動

〔子育て支援〕

（目的）

・地域に開かれた児童福祉施設として、子育ての知識や経験、技術を提供しながら、子どもの健全育成及び子育て家庭の支援を図る。

（目標）

・地域の家庭が安心して生み育てることができる支援
・全ての子ども達が健やかに育つことができる支援
・乳幼児の親が生き生きと自分らしく子育てができる支援

1、ユーカリの会

・保育園の子どもと、地域の親子が遊べる場を提供する。
・保育士や看護師などが地域の親子と、子どもの姿や接し方について会話をし、相談や質問に応じる。
・遊びの紹介をしたり子どもの悩みなどをテーマにしたり、参加者同士が話しあえる場を提供する。
・相談の内容によっては、保育士、看護師、栄養士などが応じる。
・年間計画をたて、担当者が取り組みやすいようにする。

平成31年度　地域活動事業計画表（ユーカリの会）

目的	・地域に開かれた、児童福祉施設として、子育ての知識や経験、技術を提供しながら、子どもの健全育成及び子育て家庭の支援を図る。
目標	・地域の家庭が安心して生み育てることができる支援。 ・全ての子ども達が健やかに育つことができる支援。 ・乳幼児の親が生き生きと自分らしく子育てができる支援。

	参加人数	活動内容	対象者
5月9日（木）	10組	園庭開放、育児相談	地域の乳幼児親子
6月13日（木）	10組	園庭開放、育児相談	地域の乳幼児親子
7月11日（木）	10組	園庭開放、育児相談	地域の乳幼児親子
9月13日（木）	10組	園庭開放、育児相談	地域の乳幼児親子
10月12日（木）	10組	園庭開放、育児相談	地域の乳幼児親子
11月10日（木）	10組	園庭開放、育児相談	地域の乳幼児親子
12月14日（木）	10組	園庭開放、育児相談	地域の乳幼児親子
1月9日（木）	10組	園庭開放、育児相談	地域の乳幼児親子
2月13日（木）	10組	園庭開放、育児相談	地域の乳幼児親子

２、世代間交流

・お年寄りと一緒に遊んだり、話ができる場を設定する。

・お年寄りの会に参加する。（小金市民センター　５歳児クラス）

・各行事に誘ったり、運動会で世代間の競技を設けたりしてお年寄りと関わる機会を作る。

３、地域の行事に参加する

・保育園の子ども、保護者、保育士が地域の行事に参加する。

・小金宿祭りに参加する。

４、学校や保育園との交流

・小金北保育所との交流。

・小学生の保育実習の受け入れ。

・中学生の職場体験の受け入れ。

・高校生ボランティアの受け入れ。

・大学生ボランティアの受け入れ。

５、地域ボランティアとの交流

・手話、お話の会の各ボランティアさん達が月１回来所してくれて子ども達と交流を図る。

保護者の皆様との連絡・連携の取り組み

１、保護者との連携についての考え方

乳幼児の成長・発達を見守る上で、家庭との協力は欠かせません。保育園と家庭が子どもたちを支える両輪となれるよう、子どもの成長の喜びを家庭と保育園が分かち合えるような信頼関係を築くことが、子ども達にとっても大切であると考えています。

保護者の皆様には保育園の方針や考え方についてよく説明し、ご理解・ご協力いただくこと、また保育園が保護者の皆様のご意見・ご要望を汲み取り、保育園の運営に活かしていくことが欠かせないと考えています。

２、保護者とのコミュニケーションの方法

家庭と保育園を繋ぐ連絡・連携の方法は、複合的に考えています。子ども達の様子が多方面から確認できるよう配慮していきます。

①　登園時・降園時の対応

忙しい時間帯ではありますが、ご家庭での様子を確認し、保育園での様子を的確に伝えられるよう、個別対応します。

② 連絡帳

保護者の皆様に家庭での様子を記入いただき、また保育園での様子も個別に伝えます。保育者の記入の仕方については、研修及び保育園での職員会議にて指導していきます。

記入内容

・保育中の身体の変化
・連絡事項（持ち物等）
・特別活動（行事、いつもと違う所外活動等）
・その日の印象的なエピソード等子どもの様子
・保護者の質問に答える

③ 園便り

毎月「保育園だより」を発行しその月の予定や保育のめあて・子どもの様子をお伝えします。

④ 懇談会・個人面談の実施

懇談会・個人面談を通して、子どもの様子を伝え保護者との交流を図り、より良い保育園とするための場を作ります。

⑤ 行事への参加

行事開催にあたっては、行事のねらい・当日までの過程を事前に保護者に伝え、保護者の方々が行事に参加される際に、子どもたちの成長を実感して頂くよう配慮します。

⑥ ご意見受付箱の設置

ご意見・ご質問等は、遠慮なく担任や園長などに話して頂けるのが望ましいのですが“話しにくい”というような時に、使用していただきます。

安全管理への取り組み

1、事故防止対策

・研修の徹底

「危機管理マニュアル」等を使い研修の中で、繰り返し注意を促していきます。

・保育園安全点検表、事故軽減確認表、年齢別事故防止確認表での確認

注意を払うべき場所・事項等は確認表にて全職員が把握し、保育中は常に留意すると共に週に1度はチェックします。

施設面での危険箇所の早期改善を図る。

・職員への普通救命講習受講義務付け
・園外保育を行う際の注意事項
天気の良い日は極力園外へ散歩に出るので、交通事故等が起きないよう、マニュアルを作成し、全保育者に徹底を図る。

・お散歩マップ
近隣の「お散歩マップ」を作成し、危険箇所等を事前にチェックし、全保育者が認職する。
・警察署による交通安全指導、不審者対応などの実施

職員研修

（目　的）
・自己評価に基づく課題等を踏まえ、保育園内外の研修等を通じて、必要な知識及び技術の修得、維持及び向上に努める。

１、園内研修
・保育士自身が問題意識を持ち、自己評価による課題をあげる。
・グループで日々の保育実践から問題提起し、保育を科学的に研究する。
・保育園全体で方針や全体評価をもとに課題に取り組む。
・課題を基に講師を招いて講演を実施する。

２、法人研修
・法人１２施設の運営や保育の融合性を図ることと職員の法人への帰属意識を高めるため、法人の主催する研修に全員参加を目指す。

３、園外研修
・専門性を高めるために、各機関が行う研修に参加し、研修の内容・結果等を職員に報告し施設内で共有する。

その他の取り組み

１、散　歩
計画に基づきながら、天気の良い日はなるべく散歩に出るようにします。地域の人とのふれあい、地域の自然とのふれあいを大事にします。また、散歩を通して交通ルールを知り、体力アップにもつなげます。（雨の日の散歩もあります）

２、花　いっぱい運動
季節の花で園庭を飾りたいと思います。全園児でそれぞれが種をまいたり、植えたりして、植物を育てる事の楽しさ、きれいなものを見て感じる、花や草を使っての遊びを知らせたいと思います。

３、 野菜、果実を育てて食べよう

季節の野菜を育て、収穫し食べることで採れたての野菜、果実の美味しさを知らせる。また、実際に調理して給食で食べる楽しさを知る。

４、 保育参加

保育参観は、保育を見るだけですが参加は一日保育助手として保育に参加してもらいます。実習生と同じように職員と一緒に働いて、保育園の働き、また我が子の発達、成長の姿をより深く知ってもらいたいと思います。給食の試食もあります

５、 リトミック活動

いろいろな音や音楽に触れながら、リズムや音に対して身体的に反応、行動することによって、諸感覚を敏感にし集中力や自発性、表現性などを培い創造的な人間教育をめざします。具体的には、リズム運動を中心に進めていき、音楽の楽しさを知り、子ども本人が興味をもって音楽に接するようにします。

６、いろいろなスポーツに親しもう

サッカー、野球、テニス、卓球、バドミントン、バレーボールなどのいろいろな球技に親しみ、面白さを知りある程度のルールを学ぶ。怪我の無いように準備体操も十分に行い、健康な体づくりを心がける。

７、松戸市地球温暖化防止実行計画に参加

子どもの笑顔、地球の未来をまもるためにできる事をエコ活動を通して学び、環境問題を我々大人がしっかりと考え実践していきます。
保育園内で出来る、電力使用量の削減、コピー用紙の削減、ごみ排出量の削減などを心がけます。
子ども達にもできる小さなエコも知らせていきます。

平成31年度　　年間行事予定表　　小金保育園

4 月	5 月	6 月
1日(月)　であいの会 3日(水)　身体測定(3・4・5歳) 5日(金)　身体測定(2歳) 8日(月)　身体測定(0・1歳) 26日(金)　誕生会 26日(金) こどもの日の集い ★クラス別懇談会　※避難訓練	8日(水)　身体測定(3・4・5歳) 10日(金)　身体測定(2歳) 13日(月)　身体測定(0・1歳) 31日(金)　誕生会 ※遠足　(4・5歳児) ※定期健康診断　※避難訓練	3日(月)　身体測定(0・1歳) 5日(水)　身体測定(2歳) 7日(金)　身体測定(3・4・5歳) 28日(金)　誕生会 ※歯磨き指導　※歯科検診 ※避難訓練 ※尿検査　(4・5歳)
7 月	**8 月**	**9 月**
1日(月)　身体測定(2歳) 3日(水)　身体測定(3・4・5歳) 5日(金)　身体測定(0・1歳) 5日(金)　七夕まつり 19日(金)　誕生会 ※すいかわり　※避難訓練 ※プール開き	2日(金)　身体測定(0・1歳) 5日(月)　身体測定(2歳) 7日(水)　身体測定(3・4・5歳) 23日(金)　誕生会 30日(金)　プール終了 ※避難訓練 ※5歳児お泊まり保育	2日(月)　身体測定(0・1歳) 4日(水)　身体測定(2歳) 6日(水)　身体測定(3・4・5歳) 27日(金)　誕生会 ※避難訓練 ※お月見会
10 月	**11 月**	**12 月**
2日(水)　身体測定(3・4・5歳) 4日(金)　身体測定(2歳) 7日(月)　身体測定(0・1歳) 5日(土)　運動会[雨天10/6(日)] 25日(金)　誕生会 ※健康診断 ※視力検査　※避難訓練	1日(金)　身体測定(2歳) 6日(月)　身体測定(3・4・5歳) 8日(水)　身体測定(0・1歳) 29日(金)　誕生会 ※5歳児遠足 ※避難訓練	2日(月)　身体測定(0・1歳) 4日(水)　身体測定(2歳) 6日(金)　身体測定(3・4・5歳) 13日(金)　誕生会 21日(土)　お楽しみ会 24日(火) お楽しみ会食 ※避難訓練
1 月	**2 月**	**3 月**
6日(月)　身体測定(0・1歳) 8日(水)　身体測定(2歳) 10日(金)　もちつき 14日(火)　身体測定(3・4・5歳) 24日(金)　誕生会 31日(金)　お正月あそび大会 ★5歳児懇談会 ※避難訓練	3日(金)　豆まき 5日(水)　身体測定(0・1歳) 7日(金)　身体測定(2歳) 10日(月)　身体測定(3・4・5歳) 21日(金)　誕生会 28日(金)　5歳児お別れ遠足 ★クラス別懇談会 ※避難訓練	3日(火)　ひなまつり 2日(月)　身体測定(0・1歳) 4日(水)　身体測定(2歳) 6日(金)　身体測定(3・4・5歳) 13日(金)　誕生会 ※卒園式 ※お別れ運動会・会食 ※避難訓練

※のしるしの行事は後日、お知らせいたします。

・**保育参観**を通年行っています。いつでも保育をご参観、参加ください。　保護者参加可能な行事

・**布団乾燥**は年間10回あります。

・**保護者懇談会**の詳細についてはクラスにて提示を致します。

・**個人面談**は気軽にいつでも声をかけてください。

・**手話(5歳児)**が毎月、**おはなし会(2～5歳児)**が隔月あります。地域のボランティアの方に来ていただいております。

・**行事の日程**が変更になる場合もあります。早めにお知らせいたしますのでご了承ください